

◆2024年 年頭所感

地域で飛躍する
建築士に！

佐賀県建築士会会長 小島 啓



新年あけましておめでとうございます。令和6年の新しい年を迎え、謹んで新春のお

慶びを申し上げます。旧年中は皆様方には一般社団法人佐賀県建築士会の運営・事業推進に格別のご協力、ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

昨年は、県内各地区建築士会の様々なイベントもコロナ禍以前の従来のスタイルで開催することができました。2月17日には佐賀県建築士会創立70周年記念式典・祝賀会を

佐賀市内で、6月に九州ブロック建築士会「建築士の集い」佐賀大会を嬉野市で開催させていただきました。開催するにあたり、人が集ってくれるのか、感染対策等、数年ぶりで曖昧な記憶での準備で不安を抱えながらのイベントでしたが、九州ブロック建築士会「建築士の集い」佐賀大会は九州他各県より452名の参加があり、創立70周年記念式典・祝賀会並びに各地区建築士会のイベントはたくさん佐賀県内の会員、賛助会員のみなさんの参加により盛会に終わることができました。今後も会議やイベント等はハイブリッド形式となることと思

います。佐賀県建築士会創立70周年の節目も無事に乗り越え、新しいステージに歴史を刻めていく飛躍の年となるよう会員一同協力して努めて参ります。

最後に、皆様のご発展とご多幸そして災害のない一年になることを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

BIMの次は
ネットワーク(連帯)

佐賀県建築士事務所協会会長 内田 要



新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年は、木造住宅耐震診断派遣事業にて、令和5年3月末で62件の実績がありました。他に「森川海人つフェス」への参加、佐賀県木造塾見学

会開催、経営者向けBIM講習会、そして全ての人が参加できるBIMさろん等、次の世界へ向けて動き出しています。一方、当協会の創立60周年記念事業においては、多くの方のご協力とご協賛をいただき、誠にありがとうございます。お陰様をもちまして、次の10年に向けて歩み出すことができました。

さて、我々設計業界は、急激な技術革新に適応しながら、BIM・ICTの次の課題「ネットワーク(連帯)」の構築」へ進路を向けなければなりません。県・市・町の方とは、共通のテーマに基づいて若手同士が交流し、ネットワークをつくる。女性技術者同士で働きやすい、安心・安全な仕事環境づくりのネットワークをつくる。そして、設計業界(意匠・構造・積算・設備)の全国規模のネットワークを形成する。既に東京会、神奈川会、埼玉会では、実務での連携が始まっています。このような技術革新の後に

来る世界に向けて、実業の協会として、会員・賛助会員の皆様の生活を守り、率先して行動し、将来に活路を見出すよう努めます。今後とも、協会の運営にご支援・ご協力をいただき、それを力に建築士事務所協会の地位向上に努めて参ります。最後に皆様方のご発展とご多幸を心から祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

2024年 頌春

